

動画解説まとめ 16 / AI活用

ChatGPTとClaude 仕事別の比較と使い分け

解説動画、動画編集、3Dモデル、サムネイル、文章、学習支援を実際に比較。完成物のどこを見て、どちらへ何を任せるかを、動画の実演に沿って整理しました。

この動画の要点

ChatGPT 5.6とClaude Fable 5へ制作や相談を依頼し、完成物を比較する動画です。動画編集ではカットや見どころの追加、3Dでは出力後の動作、サムネイルではテンプレートの扱いなど、仕事ごとに評価しています。単純な総合順位では決まらず、与える素材や本人についての情報でも結果が変わります。相談・制作・最終確認を分けて使う考え方でまとめました。

- 01 モデルの評判だけでなく、自分が使う素材と作業で比較する。
- 02 見栄えに加え、編集できるか、実物で動くかまで確認する。
- 03 AIに自分の経験や過去の作品を渡すと、文章や提案の方向性が変わる。
- 04 相談、制作、最終確認を別のAIに分担させる選択肢がある。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【Fable 5超え】ChatGPT5.6爆誕でFable超え結局どのAIを使えばいいのが全部比較して決着つけました超初心者向け徹底解説【チャットGPT】【Claude】

<https://www.youtube.com/watch?v=caQejNRX5mE>

比較するのは賢さだけでなく、使える完成物かどうか

動画の該当箇所 2:02 / タップして開く

動画ではGPT 5.6とFable 5を取り上げ、解説動画、編集、立体モデル、デザイン、文章、学習支援などを試しています。あべさんが注目しているのは、返答のうまさに加えて、仕事を最後まで進めて完成物を出す力です。モデル名やベンチマークだけで選ばず、自分の実際の作業で結果を見るという比較になっています。

冒頭にはモデルの種類、料金、利用枠などの説明もありますが、いずれも撮影時点の案内です。動画自身も、料金や上限が変わること、各社の公表値だけでなく実際の作業で試すことを強調しています。本資料は当時の比較方法と実演結果を整理し、現在の性能順位や料金表としては扱いません。

- ・ 材料：自分の動画、写真、テンプレート、文章など。
- ・ 依頼：実際の用途を伝えて完成物を作ってもらう。
- ・ 評価：使える部分、修正が必要な部分、完成までの進み方を見る。

解説動画の作成と、既存動画の編集は別の仕事

動画の該当箇所 11:00 / タップして開く

解説動画づくりでは、自分のキャラクター素材を渡し、説明動画を作るよう依頼しています。採用されたClaude側の動画には、最初に問いを出し、説明後に答えられることで理解を確かめる構成がありました。過去の書籍や相談内容が、あべさんらしい教え方に反映されたと評価しています。

ChatGPT側では、別の動画制作サービスを使う動きもあり、そのサービスを使わず作り直した版は音声 unnatural だったため採用していません。AIに依頼して出てきた完成物でも、どのツールを使った結果なのかを区別して比較しています。

一方、既存動画の編集には共通の練習用素材を渡し、自分のチャンネルのように編集するよう頼んでいます。Claude側は字幕が入るものの言い直しが残り、ChatGPT側はカット、冒頭の見どころ、話題表示、字幕の色分けまで行ったと紹介。解説動画の新規作成で良かったAIが、編集でも必ず上になるわけではないという例です。

完成動画をそのまま使うだけでなく、字幕データや色分けを編集ソフトへ引き継ぎ、人が直せる形にする話もあります。成果物の完成度と、修正に使えるデータの両方を見ることが実務上の評価になります。

- ・ 新規作成：構成、音声の聞きやすさ、本人の説明スタイルを確認。
- ・ 既存動画の編集：言い直しのカット、冒頭、字幕、話題表示を確認。
- ・ 仕上げ：編集ソフトへ渡せるデータがあるかを確認。

3Dモデルは、画面の見た目より出力後の動きを見る

動画の該当箇所 18:01 / タップして開く

3D制作では、それぞれの能力が分かる面白いモデルを作るよう依頼し、実際にプリンターで出力しています。ChatGPT側は、伸ばして使える指示棒を提案。伸縮して止まり、収納できるかという、部品の寸法が関わる動作まで確認されています。

Claude側が作った回転させる仕組みでは、部品が所定の場所にはまらず、サイズを調整して再度作っても合わない部分がありました。画面上のモデルがそれらしく見えても、実物として組み立てられるとは限らないという比較です。あべさんは今回の試作品ではChatGPT側を高く評価しています。

この結果をあらゆる立体制作へ一般化するのではなく、寸法や組み合わせの確認まで含めて比較する方法として参考にできます。具体的な採寸値や造形設定はこの動画の主題ではないため、ここで新しい設計手順を補ってはいません。

- ・ 生成されたモデルを実際に出力する。
- ・ はまる、動く、止まるなど、用途に必要な動作を確かめる。
- ・ 見た目の良さと、実際に使えることを分けて評価する。

サムネイルは、素材と制作方法をそろえて比較する

動画の該当箇所 22:00 / タップして開く

サムネイル比較では自分の写真素材を渡し、まずプログラムで配置する方法を試しています。Claudeには画像生成機能がないという当時の前提に合わせ、ChatGPT側も同じ方法で比較しました。その後、ChatGPTの画像生成で作った版も見えています。生成AIによる新規画像と、手持ち素材を編集したものは別の結果として扱っています。

さらに、パソコン内にあるPhotoshopのテンプレートを利用する作業を依頼。テンプレートの人物を自分の写真に変え、動画に合う文字を考えて置き換えてもらいます。ChatGPT側は人物の位置などに難があり、Claude側は文字の差し替えが進んでいて、人が微調整すれば使えると評価されています。

この比較では途中で、両者に依頼した動画テーマが異なることも本人が訂正しています。完全に条件を統一した実験としてではなく、実際の制作でどこまで進められたかという事例です。自分の仕事でも、写真や既存テンプレートを渡し、残った修正が何かを見ることが選び方につながります。

- ・ 画像を新規生成する方法と、既存素材を編集する方法を区別する。
- ・ 顔写真、文字、テンプレートの位置関係を確認する。
- ・ 人が最後にどこを直せば完成するかを見る。

文章は完成原稿の読みやすさと、相談の深さを分ける

動画の該当箇所 29:01 / タップして開く

文章の比較では、自分の1冊目の書籍データを渡し、別の本を作るよう依頼しています。Claude側は冒頭のサンプルを出し、ChatGPT側はまとまったページ数の文書まで出したと紹介。あべさんは、一度の依頼で完成まで進む点や、最初に読んだ文章の魅力ではChatGPT側に良さを感じています。

一方、執筆中の疑問を相談し、伝え方や新しい発想を引き出す場面ではClaudeを評価しています。すぐに原稿を出せることと、作者の考えを深める相談ができることは、異なる長所として扱われています。

後半では、文章の魅力には誰の経験から出た言葉かが関係すると話しています。同じ一般論でも、本人が実際に試したことや失敗が伴うと受け止め方が変わるためです。今回のChatGPTには本人の情報が多く蓄積されていたことも結果に影響しており、モデルの差だけで説明していません。

- ・ 既存の文章や書籍を材料として渡す。
- ・ 完成原稿の評価と、相談相手としての評価を分ける。
- ・ 本人の体験や判断を渡し、一般論だけの文章から離れる。

学習支援と資料作成では、理解と実行を確認する

動画の該当箇所 37:02 / タップして開く

学習支援は、宅建について何も分からない状態から今日やることを教えてほしいという依頼で比較しています。最初は受験手続きや教材の案内が返りましたが、AIに教わる分かりやすさを見せたいと目的を言い直すことで、具体的な授業形式へ進みました。

ChatGPT側は資格の役割から説明し、Claude側は身近な取引例と問題を使って解説しています。あべさんは基礎の基礎から教える分かりやすさと、申込期限など現実に必要な行動への注意を別々に評価。学習内容だけでなく、受験へ進める案内も見えています。ここで出た法律や日程の例を、現在の試験対策や契約判断にそのまま転用するものではありません。

スライドでは、見栄えに加え情報を整理して相手へ伝えるという役割を重視し、今回使うものとしてClaude側を採用しています。作品ごとに目的を置き、その目的を満たすかで選ぶ姿勢が一貫しています。

- ・ 分からない点と、教わりたい目的を具体的に言い直す。
- ・ 説明を読んで理解できるか、次に何をすべきか分かるかを見る。
- ・ 資料は装飾だけでなく、情報の整理と伝わり方を確認する。

相談・制作・確認を分担する

動画の該当箇所 46:01 / タップして開く

最後にあべさんは、Claudeで相談して作業の依頼文を考え、ChatGPTで制作し、Claudeで最終確認する流れを提案しています。これは今回の使用経験に基づく組み合わせで、常にこの順番が最良という固定ルールではありません。

自分がよく行う仕事を1つ選び、同じ材料と目的で試すと、どちらに何を任せるかを判断しやすくなります。完成物の質だけでなく、修正のしやすさや相談の進めやすさも含めて、自分の仕事に合う役割分担を考えます。

実践の進め方

01 実際の素材を用意する

動画、写真、テンプレート、過去の文章など、自分の仕事で使う材料をそろえます。

動画 14:02

02 用途を伝えて試す

完成後に何に使いたいかを伝え、各AIへ制作や相談を依頼します。

動画 22:00

03 完成物を使用場面で確認する

動画ならカットや字幕、3Dなら組み立てと動作、資料なら伝わり方を確認します。

動画 18:01

04 役割を分ける

今回の比較では、相談・制作・最終チェックを分ける案が紹介されています。自分の結果に合う担当を選びます。

動画 46:01

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部の活用例】この資料を根拠に、私の仕事でAIを比較する方法を考えてください。記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めてください。作りたい完成物、渡せる素材、現在困っている作業を聞き、何を見て比較すればよいかを整理してください。動画時点の性能順位を現在にも当てはめず、相談・制作・最終確認の役割を分けて提案してください。

資料について

- ・ 動画の解説と実演を読みやすく整理した資料です。
- ・ 比較結果は撮影時点のモデル、素材、依頼内容による個別の結果です。料金・利用条件は現在の公式案内でご確認ください。
- ・ 資格の説明例はAIの教え方を比べるための内容で、現行の法律や試験日程を案内する資料ではありません。